

旅行産業の将来性と大いなる魅力を発信 現場体験通じ学生らの就業意欲も高まる

JATAは2月9日から22日までの期間のうち、9日間にわたって「2017年度JATAインターンシップ」を実施しました。今年度は前年度の17校を上回る18校から44人の学生が参加し、旅行会社25社が学生らを受け入れています。

前年度を上回る18校から44人の学生が参加

JATAインターンシップは、JATAの会員企業とJATAとの協働により、型通りの「就業体験型」インターンシップだけでなく、さまざまな業界概要の講義やビジネスマナー研修などJATAによる事前講習を受けた後、業態・規模の異なる2社で旅行



実習を振り返って講義する JATA 広報室の矢嶋室長

会社における現場の最前線を横断的に就業学習できる9日間完結型のプログラムです。

2月9日に行われたオリエンテーションでは、観光庁観光産業課の田村寿浩参事官が「将来の観光産業」、JATAの越智良典理事・事務局長が「6000万人双向交流時代」をテーマに講演を行ったほか、JATA広報室の矢嶋敏朗室長が「旅行業の現状と旅行業で働くこと」と題して講義を行いました。

インターンシップに参加した学生らは、2月14日から19日からの3日間に業態の違う2社で就業体験を行い、最終日の22日には座学による実習で各自の就業体験を総



最終日に講義を行った JTB 総合研究所の波瀾郁代執行役員企画調査部長



2017年度 JATA インターンシップに参加した学生ら

括しています。

旅行業界への就職を真剣に考えている大学3年生を対象に実施されるインターンシップは、学生らに旅行業界の最新事情を知ってもらい、学生側と旅行会社側のミスミスを防ぐと同時に、旅行業界で働く魅力を学生らに伝え、その意欲を高めることなどを目指してスタートしたものです。

矢嶋室長によると、今回で5回目となったJATAインターンシップは「カリキュラムの内容も年々レベルアップ」してきており、同室長は「インターンシップに参加した受講生の多くが毎年、旅行業界に就職している」と語り、その成果を強調しています。

学生と旅行会社の双方に大きな意味

インターンシップに参加した学生らを対象に行った昨年度アンケートでも、「旅行業に就職したいと考えますか」という設問への回答では、インターンシップ前に27.3%だった「絶対に就職したい」がインターンシップ後には43.2%に増加するなど、旅行会社で現場の最前線を体験した学生らの就業意欲が高まっていることが裏付けられました。

また、アンケートの自由回答では、学生らから「インターンシップを通じて、旅行会社がそれぞれの企業で強みにし

ているところが違うことが分かった。自分が何をしたいのか、その会社でやりたいことがあるか見極める必要があると感じた」「旅行業界を志す意識の高い学生に囲まれて9日間の体験をすることができ、自分自身の問題点や見習うべき点がいっつも見つかった。このようなインターンシップが今後も続くと学生のためになる」「インバウンドに取り組み、ITなどによりうまく対応できれば、今後も成長産業であると思う」といった感想も寄せられています。

JATAの矢嶋室長は、「就業学習を通じて旅行業の実状や課題を十分に認識し、そうした実状や課題について大学で再び勉強することで、旅行業界への就職に備えてもらえれば、学生と旅行会社の双方にとっても大きな意味がある」と指摘しています。

《2017年度JATAインターンシップの実施状況》

《参加した学生の所属大学》

亜細亜大学／桜美林大学／跡見学園女子大学／江戸川大学／川村学園女子大学／高知工科大学／高崎経済大学／筑波学院大学／帝京平成大学／東海大学／東洋大学／獨協大学／明海大学／明治大学／白鳥大学／横浜商科大学／立教大学／早稲田大学(五十音順)

《学生らの受入企業》

AITラベル／ANAセールス／エヌオーイー／沖縄ツーリスト／小田急トラベル／近畿日本ツーリスト／近畿日本ツーリスト神奈川／近畿日本ツーリスト個人旅行／KNT-CTグローバルトラベル／JTB関東／JTBグローバルマーケティング&トラベル／JTB国内旅行企画／ジェイアール東海ツアーズ／ジャルパック／西武トラベル／東日観光／東武トップツアーズ／日本旅行／農協観光／阪急交通社／びゅうトラベルサービス／プラスワン教育／ミキ・ツーリスト／名鉄観光サービス／ユナイテッドツアーズ